

「老舗企業」 静岡県に 1607 社

業種細分類別では「製茶業」が 77 社で最多

静岡県・「老舗企業」分析調査(2025 年)



本件照会先

竹岸 隆浩(調査担当)
帝国データバンク
静岡支店
TEL:054-254-8301
info.shizuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/05/21

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

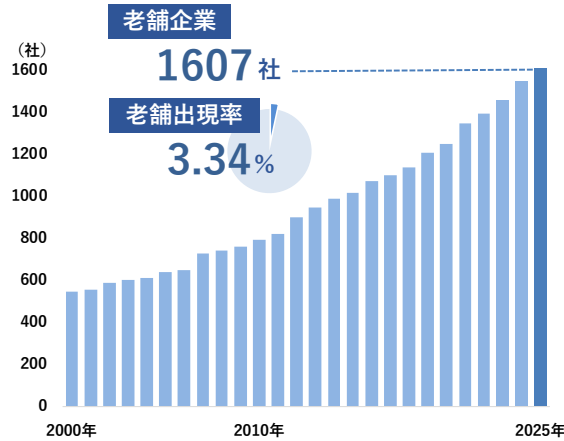
2025 年 12 月時点で業歴 100 年を超える静岡県内の老舗企業は 1607 社。老舗出現率は 3.34% となった。業種大分類別では、製造業が最も多く、次いで小売業、卸売業の順となった。業種細分類別で見ると、老舗企業数で製茶業が 77 社でトップとなった。

帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025 年 12 月時点、約 150 万社収録)に加え、独自で収集し営業の実体を確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年以上の企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。
創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

静岡県内に老舗企業は 1607 社、老舗出現率は 3.34%

2025 年 12 月時点で業歴 100 年を超える老舗企業は、1607 社を数えた。現在の NHK がラジオ放送を開始し、普通選挙法が公布された 1925 年(大正 14 年)に創業した 61 社が老舗企業に加わった。静岡県における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は 3.34%で、都道府県別では 19 位となった。

老舗企業数 推移



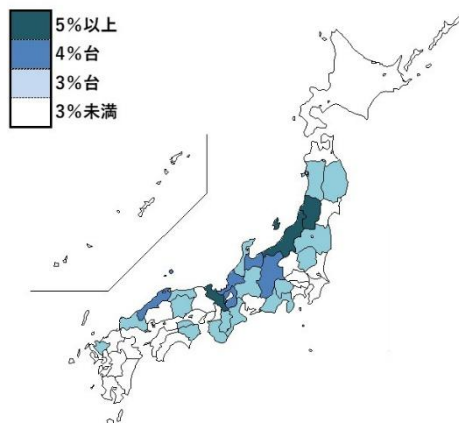
京都府が 5.45%でトップ、全体を上回るのは 23 府県

全国の老舗出現率を都道府県別にみると、京都府が 5.45%でトップだった。古都として栄え、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことが老舗企業の存続につながっていると考えられる。「酒どころ」の山形県、新潟県が続き、3 府県が 5%を上回った。そのほか、日本海側の地域を中心に 5 県が 4%を上回り、全体の 3.11%を上回ったのは 23 府県だった。

一方で、大都市圏は低水準となり、東京都は 2.32%、大阪府は 2.30%、愛知県は 2.95%だった。そのほか、九州エリアでは軒並み老舗出現率は低く、沖縄県は 0.17%にとどまる。なお、同県内の老舗で最も多い業種は「蒸留酒・混成酒製造」の 11 社で、泡盛の製造を手がけている。

なお、静岡県は 3.34%で全国 19 位となった。

老舗出現率 都道府県別上位・下位 5 地域

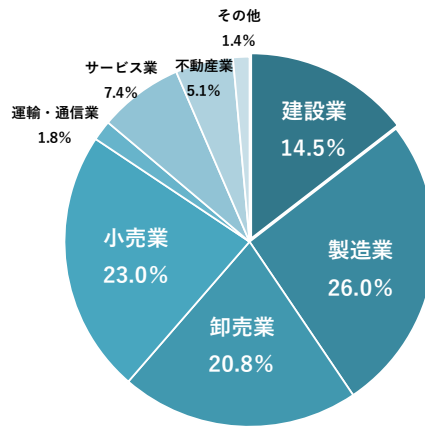


| 順位 | 都道府県 | 老舗出現率 |
|----|------|-------|
| 1 | 京都府 | 5.45% |
| 2 | 山形県 | 5.44% |
| 3 | 新潟県 | 5.07% |
| 4 | 島根県 | 4.59% |
| 5 | 福井県 | 4.56% |
| ⋮ | | |
| 43 | 福岡県 | 1.82% |
| 44 | 鹿児島県 | 1.69% |
| 45 | 神奈川県 | 1.63% |
| 46 | 宮崎県 | 1.56% |
| 47 | 沖縄県 | 0.17% |

製造業・小売業・卸売業で老舗企業の 7 割、製茶業が最多

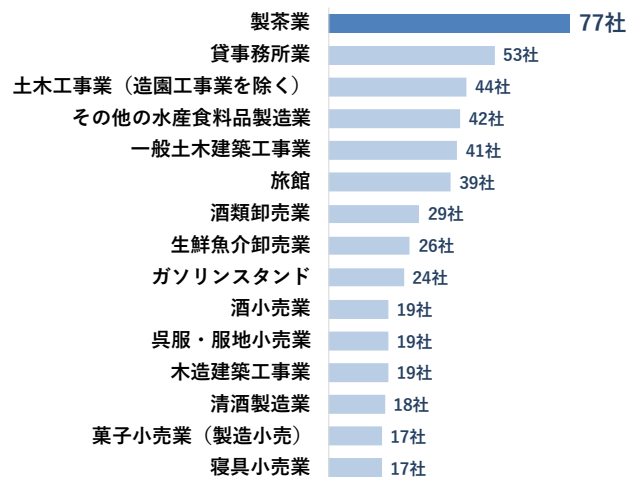
判明している現在の業種別にみると、最も多いのは「製造業」で老舗企業全体の 26.0%を占めた。次いで、「小売業」(23.0%)、「卸売業」(20.8%)となり、7 割を占めている。企業全体では建設業やサービス業が多いが、老舗企業は製造・小売・卸売が多いことがわかる。

老舗企業 業種大分類別構成比



業種細分類別では、老舗企業数は「製茶業」が 77 社でトップ。日本有数のお茶の産地であることから、静岡県全域に知名度の高い茶畑が広がっており、“静岡茶”としてのブランド力の強さが表れているものとみられる。次いで、全国で最も多い「貸事務所業」が 53 件となった。古くから保有する不動産を活用し、オフィスビルを建設するなどして業種転換したケースが多く、安定した資産を持つ老舗企業の強みが活かされている。

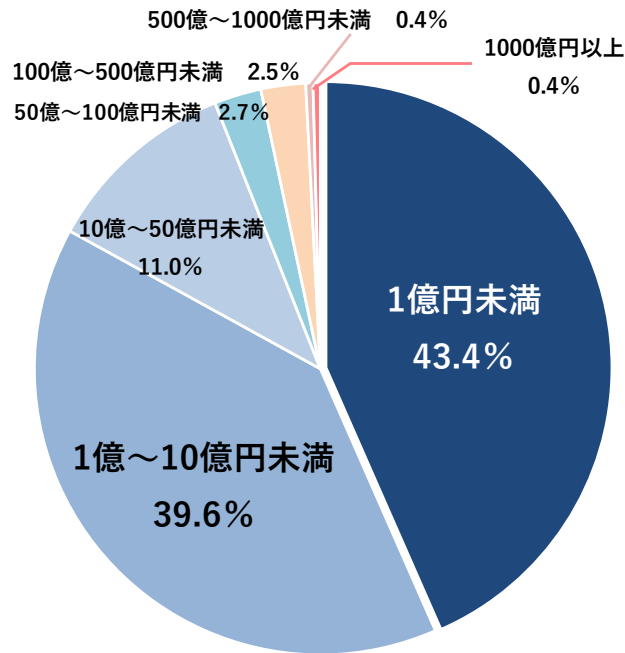
老舗企業 業種細分類別上位 15 業種



10 億円未満が 8 割強

売上高が判明している老舗企業を売上規模別にみると、「1 億円未満」が 43.4%、「1 億～10 億円未満」が 39.6%と、10 億円未満が 8 割強を占める。規模は小さくとも着実に長く事業を続けているケースが大半を占めた。

老舗企業 売上高構成比



まとめ

静岡県で業歴 100 年を超える老舗企業は 1607 社を数え、老舗出現率は全国 19 番目となる 3.34% となった。全国では老舗企業が 4 万 6708 社となり、老舗出現率は 3.11% で初めて 3% を超えた。老舗企業の 9 割が明治・大正時代に創業・設立した企業で、江戸時代以前に創業した企業は約 3600 社に限られる。

2025 年は全国で 142 社(負債 1000 万円以上)の老舗企業が倒産している。価格転嫁が進まない企業やガバナンスの欠如が発覚した企業の倒産があった。老舗企業を含む業歴 30 年以上の倒産件数は過去 10 年で最多の 3263 件となった。資金繰りに課題を抱えている企業数は決して少なくない。

長く事業を続けるには、時代の変化に対応し、ニーズを的確に捉え、製品開発や新技術の導入、販売経路の開拓など新たなことに取り組み続けなければならない。日本の老舗企業は、海外の経営者が学びに来日するほど注目されており、災害や戦争など危機的状況を乗り越えてきた老舗企業から学ぶべきことは多い。静岡県内における老舗企業数は増加し続けており、今後の老舗出現率は高まる見通しである。